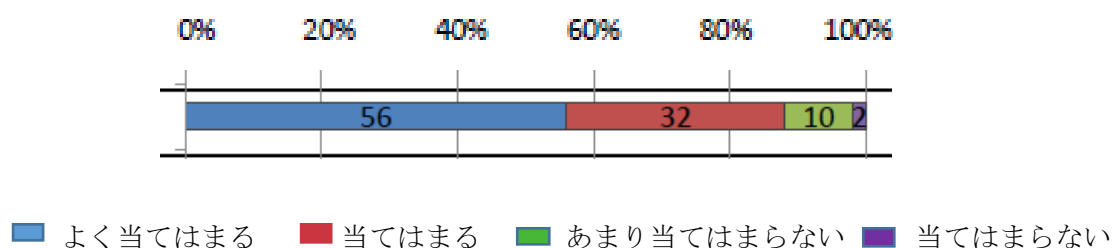


令和7年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和7年度の児童への学校診断案アンケートでは、「英語の授業や英語活動は楽しい」という質問に対して、「よく当てはまる」「やや当てはまる」と回答した児童は、全体の88%でした。このことから、毎朝の英語活動の時間に楽しく参加している児童が多いことが分かります。

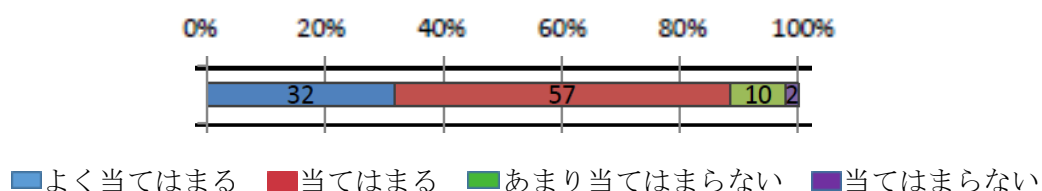
【資料1】児童のアンケート結果



2 学校関係者評価結果

令和7年度に行った保護者向けのアンケートでは、「学校は、英語の授業や英語活動を通して、子供が英語に親しむことができるよう工夫している」という質問に対し、「よく当てはまる」「やや当てはまる」と回答した保護者は、全体の89%でした。「よく当てはまる」の割合をみると、児童の「よく当てはまる」が56%に対して、保護者は、32%となっており、保護者と児童では差が大きいです。学校での英語活動の様子をさらに知っていただく工夫をしたり、ALTやSTとの連携を図ったりしながら、児童が英語に親しむことができるようにしていきたいです。

【資料2】保護者のアンケート結果



3 まとめ

令和6年度より、児童は英語活動の時間を楽しいと感じている児童が増えました。一方12%の児童が「英語の授業や英語活動は楽しい」に対して「あまりそう思わない」「そう思わない」と答えています。12%の児童が英語を楽しめるように英語活動を充実させていく必要があります。英語活動や授業の時間に担任が楽しく英語を使っている姿を見せたり、日常の中で英語を使っていくように促したりすることで児童が英語を楽しんでいると感じられるようにしていきたいと考えています。